

高次脳機能障害の 理解と支援の充実をめざして

2022
年版

こんな方はいませんか？
病気をしてから、事故にあってから

- ・病気やケガの前のことはよく覚えているのに新しいできごとを覚えられない

記憶障害

- ・集中力が続かない
- ・気が散りやすい
- ・複数のことを同時にできない

注意障害

- ・段取りよく、家事や仕事を進められない

遂行機能障害

元気になって
よかったね！

でも、前と少し
変わってしまった…？



さあ、社会復帰だ。
がんばるぞ！

あれ？
なんか変だな。
うまくいかない…

- ・感情や欲求のコントロールができない
- ・些細なことで怒りやすい
- ・自発的な行動に移せない

社会的行動障害

- ・片側の空間にある人や物、文章を見落としてしまう

半側空間無視

- ・話を理解できない
- ・話そうとしても言葉が出てこない
- ・文字を読めない、書けない

失語症

もしかしたら **高次脳機能障害** かもしれません

上記の症状でお困りのことがありましたら、次へお電話ください。

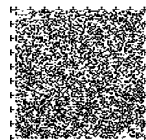
高次脳機能障害専用電話相談

電話

東京都心身障害者福祉センター

03-3235-2955

月～金 9時～12時 13時～16時（祝日および年末年始を除く）



目次

高次脳機能障害の基礎知識

高次脳機能障害とは	P 1
高次脳機能障害の方の特徴と対応の基本	P 2
高次脳機能障害の変化と回復	P 2
福祉サービスの利用	P 2
高次脳機能障害の主な症状と対応のヒント	P 3
東京都における高次脳機能障害者支援の取組	P 4

関係機関

相談窓口	P 5
通所施設	P 13
入所施設・短期入所施設	P 38
就労支援機関	P 39
医療機関	P 42
主として都内で活動中の高次脳機能障害の当事者・家族会	P 48

高次脳機能障害とは

高次脳機能障害とは、病気や交通事故など、様々な原因によって脳に損傷をきたしたために生ずる、言語能力や記憶能力、思考能力、空間認知能力などの認知機能や精神機能の障害を指します。

日常生活面では、例えば、今朝の朝食の内容が思い出せなくなった（記憶障害）、仕事に集中できなくなった（注意障害）、計画が立てられなくなった（遂行機能障害）、言葉が上手に話せなくなった（失語症）、人の話が理解できなくなった（失聴症）、歯ブラシの使い方が分からなくなった（失行症）、道に迷うようになった（地誌的障害）、左側にあるおかずが目にとまらず残してしまうようになった（左半側空間無視）など、様々な症状がみられます。

